

製品名: POLR3A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16358**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	156kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR3A POLR3A; DNA-directed RNA polymerase III subunit RPC1; RNA polymerase III subunit C1;
別名	DNA-directed RNA polymerase III largest subunit; DNA-directed RNA polymerase III subunit A; RNA polymerase III 155 kDa subunit; RPC155; RNA polymerase III
遺伝子 ID	11128.0
SwissProt ID	O14802
免疫原	抗血清はヒト RPC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 31-80

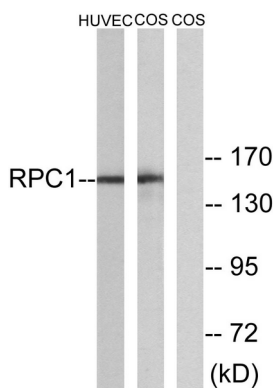
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、小さな RNA を合成する RNA ポリメラーゼ III の触媒成分である。コードされるタンパク質は、外来 DNA を検出し、自然免疫応答を誘発するセンサーとしても機能する。[RefSeq 提供、2011 年 8 月],触媒活性: $\text{ヌクレオシド三リン酸} + \text{RNA}(n) = \text{二リン酸} + \text{RNA}(n+1)$ 、機能: DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒する。5S rRNA や tRNA などの小さな RNA を合成する RNA ポリメラーゼ III の最大の触媒コア成分である。2 番目に大きいサブユニットと共にポリメラーゼの活性中心を形成する。プロモーターの 1 本鎖 DNA 鋳型鎖は、Pol III の中央の活性部位の溝内に位置している。RPC1 から伸びる橋かけヘリックスが触媒部位近くの溝を横切り、ヌクレオチド付加の各段階で直線状から曲がった構造に切り替わることで RNA-DNA ハイブリッドを活性部位を通して移動させるラチェットとして機能し、Pol III の転座を促進すると考えられています。類似性:RNA ポリメラーゼ β 鎖ファミリーに属します。サブユニット:17 個のサブユニットからなる RNA ポリメラーゼ III (Pol III) 複合体の構成要素です。

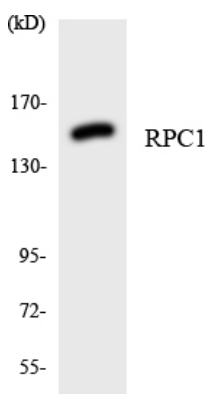
研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、RNA ポリメラーゼ、細胞質 DNA 感知経路

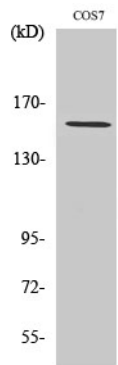
画像データ



RPC1 抗体を用いた COS 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



RPC1 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



POLR3A ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。